

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	水道事業（用水供給事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課			
		実施期間	S49 ～	E-mail	kigyo @ pref.nagano.lg.jp			

1 現状と課題

- ・人口減少に伴う用水供給先における水需要の減少、施設の老朽化の進行
- ・令和17年度以降に予定されている送水幹線の更新に向け、用水事業全体の投資計画を定め、財源の確保が必要
- ・将来にわたり安心・安全な水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成及び広域連携の強化が必要

2 事業目的

- ・用水供給先に安全な水を安定的に届けるため、アセットマネジメントを活用して施設設備の計画的な更新等を実施
- ・近年頻発する大規模災害等に対応して基幹管路の耐震化を実施するとともに、災害発生時における広域連携を強化
- ・水道の基盤強化を図り、水道事業の持続可能な経営体制を構築するため、広域化・広域連携等の取組を推進

3 事業目的を達成するための取組

① 未来への投資 ・施設・管路の老朽化対策・耐震化の計画的な推進 施設耐震化（本山浄水場濃縮槽耐震化工事等） 管路耐震化（支線管路耐震化工事） ② リスクマネジメント ・施設・管路の老朽化対策・耐震化の計画的な推進 ・片平取水場の取水機能を強化 （取水場改良のための管理道路拡幅工事） ③ 地域への貢献・地域との連携 ・持続可能な水道事業確立のため広域化を推進	管路耐震化工事 		本山浄水場耐震化工事 
			松塩地域水道事業広域化研究会 

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績			
①	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	%	90.0	90.0	→	95.0	↗	95.0	近年、頻発する大規模地震を踏まえ、本山浄水場の耐震化を行う。取水口、沈砂池、ろ過地、浄水池、洗浄水槽、濃縮槽等の代替性が無い施設を優先して耐震化を進めている。
②	管路の耐震適合率	%	98.8	98.8	→	100.0	↗	100.0	近年、頻発する大規模地震を踏まえ、管路48.4kmの耐震化を行う。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-3④	社会的なインフラの維持・発展	水道の広域連携を実施する圏域数	圏域	2023 (R5)	0	2024 (R6)	0	2025 (R7)	0	2027 (R9)	9

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	83,923	2,870,918	2,989	2,957,830	0	2,257,265	12.0
R6年度	303,143	2,195,512	4,376	2,503,031	0	2,186,506	13.0
R5年度	388,998	2,264,519	△ 18,493	2,635,024	0	2,092,219	13.0

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	水道事業（用水供給事業）		部局	企業局	課・室	水道事業課	

7 主な取組実績と成果

① 未来への投資

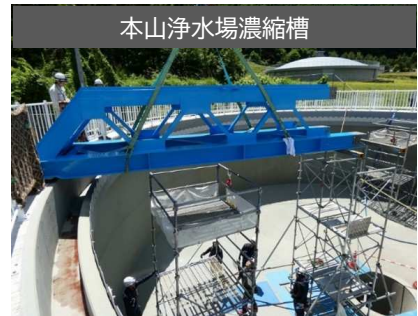
- ・床尾支線管路耐震管布設工事 管路耐震化布設延長 343.0m
- ・本山浄水場 急速ろ過設備更新工事他
- ・本山浄水場 濃縮槽耐震化工事他

② リスクマネジメント

- ・片平取水場の管理用道路拡張工事完了

③ 地域への貢献・地域との連携

- ・広域化・広域連携を研究するための「松塩地域水道事業広域化研究会」の開催（計3回）



本山浄水場濃縮槽



松塩地域水道事業広域化研究会

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	達成
計画的な更新により目標を達成した。							
指標 ②	管路の耐震適合率	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	達成
計画的な布設替工事により目標を達成した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・経営戦略策定時と比べ、資材・人件費が高騰し、収益の減少による経営への影響が懸念される。
- ・広域化・広域連携においては、地域全体の水運用、水道施設の耐震化や専門人材の確保等、各種課題の検討が必要。

(2) 事業改善の方策

- ・安定的な用水の供給が行えるよう、耐震化工事等の実施に当たっては、経費の平準化に配慮しながら更新計画の見直しを図る。
- ・広域化研究会において、財政シミュレーションの実施などにより、関係市村と連携した広域化の検討を引き続き行っていく。

事業番号	13 01 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	水道事業（用水供給事業）			部局	企業局	課・室	水道事業課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	水道事業（用水供給事業）		2,092,219 千円	2,186,506 千円	2,257,265 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	施設設備の老朽化対策等の加速	直接 委託	安心・安全な水を安定的に届けるため、施設設備の老朽化対策、耐震化を計画的に推進 本山浄水場老朽化設備更新 1箇所		
2	リスクマネジメントの推進	直接 委託	大規模災害等に備え、施設・管路の老朽化対策・耐震化の計画的な推進 管路の耐震化 L（延長）＝ 343.0m		
3	水道事業の広域化等の推進	直接 委託	持続可能な水道事業を確立するため、関係市村との研究会において、広域化・広域連携の検討を推進 松塩地域水道事業広域化研究会実施 3回		